



ワークショップ開催のご案内

主催：福井県経営品質協議会

若手社員とベテラン社員との連携による探究実践

～ 顧客の本音を知り、その「事実」を事業の見直しに活用する ～

現在の社会情勢は思いもよらないことで経済社会が一変し、顧客の思考・興味・行動が変容します。顧客と社会情勢を加味しての事実による未来予測と戦略戦術の立案が求められる時代です。そして一見利益を生まない取組や地道な努力が、企業・組織の未来を左右します。このような時代だからこそ企業・組織は持てる力を効率よく投入することが必要です。

今回はワークショップにて「若手社員とベテラン社員との連携による探究実践」を開催します。魅力ある組織づくりや自社ブランド力向上のために皆様のご参加をお待ちしております。

日 時	第1回	2025年10月14日（火）or 27日（月）	15:00～16:30
	第2回	2025年11月18日（火）	14:00～16:30
	第3回	2026年1月中旬	14:00～16:30
	第4回	2026年2月下旬～3月上旬	14:00～16:30

3回目・4回目は参加者の意向で日程調整します

会 場	第1回	オンライン参加（webex 使用）	後日、URL をお送りします
	第2回～第4回	福井県織協ビル（予定）	

講 師 ジャートム株式会社 代表取締役 **光成 章 氏**

定 員 10社（30名） オンラインの場合デバイス1台／人が原則です
定員なり次第締め切らせていただきます

参加費	第1回～第4回合計	会員・入会予定企業や組織	¥11,000 円／人
		非会員	¥48,000 円／2人まで
		（追加人数毎）	¥11,000 円／人

【目 的】

課題解決型の企業活動が必須の現代において、課題そのものを見極める能力が求められますが、課題は見えているものと見えていないものが存在し、企業の未来は見えていない潜在的なものが左右します。今回は、リサーチの専門家が企業における顧客の潜在的欲求を深堀し探り出す技法を紹介し実践する中で、ベテラン社員と若手社員の連携による活動が近道であることを体得していただきたいと企画しました。

アイデアは正しい情報を元に捻り出さなくては意味がありません。一方、漢字をひらいて「情(なさ)けへの報(しら)せ」と読めるのも情報です。感情に訴えてくるモノが情報というわけで、同じモノを見ても、「あっ！」と心が動く人と、全く何も感じない人がいます。事実の価値は受け取る人によって変わるといことです。経験の違いがモノの見方の違いを生むのであれば、業務経験が異なる者同士が組んでコトに当たれば、何かが生まれる可能性が高まります。アイデアは既存の要素の組合せで生まれますが、異質同士が組み合わせるほど意外なモノが出来上がります。豊富な実践知を基準に考えがちなベテランと、実践経験が浅い新人とによる産物はまさにその類でしょう。

【開催方法】

オンライン形式（第1回）と会場集合形式（第2回～第4回）で行います。

【 概 要 】

- ・第1回 10月14日（火）or 27日（月） どちらも同じ内容です。ご都合の良い日にご受講ください。

イントロダクション(全体概要): 事実に基づき思考する「探究」は企業にこそ必須です。企業が事実として重視すべきは顧客や取引先の本音ですが、顧客の目に映る「事実」には「真実とは異なる誤解」が含まれている可能性があります。しかし、企業が知るべきは、それも含めた「認識されている事実(Perceived Fact)」で、成すべきはそれに基づく戦略戦術の立案・実行です。関係者の深層心理に迫る調査技法、調査結果の解釈とその活用法、ワークショップを通してこれらを理解していただきます。

また、チーム構成や2回目以降のためのプレセミナーとなります。

- ・第2回（集合研修）

ターゲットの設定 → 調査手法の検討・選択 → 自社の現況に即した、具体的質問と流れ(インタビューガイド)の作成

- ・第3回（集合研修）

各社に応じたインタビューテクニック(投影法など)の組み入れ → インタビューの練習
(→ 第4回までに、各社独自にインタビューを実施)

- ・第4回（集合研修）

実践結果(Findings)の持ち寄り → 分析・解釈 → 示唆(Implications) 今後の活用について
まとめ

申込方法

右記のQRコードから申し込みください。

お問い合わせ：メールでお願いします。

admi_n@fpc-fqa.or.jp



【講師実績】

講師の光成章氏は、福井市出身のリサーチコンサルタントで、外資系市場調査会社や有名ブランドで長年リサーチ業務を担当した情報のエキスパート。現在は東京と福井に拠点を置き、コンサルタント業のほか、ビジネススキルに関する実践的な講座を定期的開催。

早稲田大学卒業後の10年間、廣済堂プランニングセンター、矢野経済研究所、マッキンゼーエリクソン博報堂市場調査事業部インフォプラン等にて各種リサーチプロジェクトを担当。その後20年以上にわたり、リーバイスやシャネル日本支社で「顧客の声を聴く」責任者を務め、2018年に独立してジャートム株式会社を設立。2019年には著書『エビデンス仕事術』を出版し、情報の集め方や選別整理、プレゼン技術などをビジネス全般に応用できる方法を紹介。

現在は、福井工業大学環境学部デザイン学科のマーケティング担当非常勤講師、福井をはじめ東京や茨城の複数の高校・中学・小学校にて探究学習を支援。福井県「ふくいブランド大使」。